

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 15 日作成)

|                              |  |                               |
|------------------------------|--|-------------------------------|
| 小委員会名                        | 建築論・建築意匠小委員会   | 主 査 名：小林克弘<br>就任年月：2005 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 建築歴史・意匠委員会   | 委員長名：吉田綱市<br>主 査 名：           |
| 設 置 期 間                      | 2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月  |                               |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | <p>・本委員会は、(1)日本および海外の建築論、建築意匠に関する研究の持続的収集(基礎的な文献資料のデータベース化)、(2)建築論・建築意匠論研究の方法論の研究、(3)学際的、国際的研究の交流(公開研究セミナーの開催)、(4)研究成果の公表(建築論・建築意匠事典の刊行、公開研究会の記録の刊行)を具体的な目標に設定している。</p> <p>・2006年度は、(1)2005年大会(近畿)に於いて、建築歴史・意匠の研究協議会(主題「建築のデザインと論理の間」)を企画・運営した結果を踏まえ、建築論と建築意匠の間の諸問題について総合的な討論を行い、次年度以降の連続セミナー案を立案した(2)「建築論・建築意匠論事典」の刊行に向けて、編集作業の継続、を具体的活動計画とした。</p>            |                               |
| 委員構成<br>(委員名(所属))            | 委員公募の有無：無  |                               |
|                              | <p>建築論・建築意匠小委員会<br/>主査 小林克弘(東京都立大学)<br/>幹事 西垣安比古(京都大学) 崔 康勲(法政大学)<br/>委員 岡河 貢(広島大学) 林 一馬(長崎総合科学大学) 竺 覚堯(金沢工業大学) 片木 篤(名古屋大学) 内藤 廣(東京大学) 富永 譲(法政大学) 白井秀和(福井大学) 松本静夫(福山大学) 奥山信一(東京工大) 西田雅嗣(京都工大)</p> <p>建築論・建築意匠事典 WG<br/>主査 前田忠直(京都大学)<br/>幹事 岸田省吾(東京大学) 田路貴浩(明治大学)<br/>委員 木下 央(東京都立大学) 入江正之(早稲田大学) 門内輝行(京都大学) 伊従 勉(京都大学) 市原 出(東京工芸大学) 佐野潤一(摂南大学) 末包伸吾(神戸大学)</p> |                               |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           | <p>建築論・建築意匠事典 WG<br/>開催数：1 回<br/>建築論・建築意匠事典の刊行に向けての編集作業の継続。</p>  |                               |
| 2005 年度予算                    | 23 万円  | ホームページ公開の有無：<br>委員会 HP アドレス：  |

| 項 目                           | 自己評価          |      |   |
|-------------------------------|---------------|------|---|
| 委員会開催数                        | 1 回(年度内計画を含む) |      |   |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は除く)         | 1. なし         |      |   |
| 講習会                           | 1. なし         | 参加者数 | 名 |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | 1. なし         | 参加者数 | 名 |
|                               | 2. なし         | 参加者数 | 名 |

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 大会研究集会                         | 1 . (名称)<br>(資料名)   |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等             | 1 .   |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1 . 「建築論・建築意匠論事典」の刊行に向けて、編集作業は、語句の選定など編集作業の最終段階に入ることができた。<br>2 . 来年度の連続セミナー企画を具体化できた。 |
| 委員会活動の問題点・課題                   | 1 . 大会における研究協議会や公開連続セミナーでは、学生や若い建築関係者が多く参加している。今後も、学会と若い世代を繋ぐ企画・運営を充実させていきたい。         |

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。